

東日本大震災復興支援チャリティーイベント 「震災体験と音楽による復興支援の試み」

以下のイベントは全て、入場無料、整理券不要、年齢制限なしです。お気軽にお越し下さい。

日時：2014年3月13日（木）14時開演

場所：愛仁会リハビリテーション病院3階 高槻病院総合受付前ロビー
〒569-1116 高槻市白梅町5-7

電話：072-681-3801 ファックス：072-682-3834

東北大学良陵（ごんりょう）共に歩み隊（ゴントモ）の活動を紹介します

プログラム

1. 東日本大震災の体験と音楽による復興支援の試み（高橋）
2. チャリティー演奏：
チェロアンサンブル（3名予定）、および
ピアノとチェロの演奏。高橋ほか大阪の有志演奏者の皆様
曲目：初恋、白鳥、花は咲く、ロンドンデリーの歌、ふるさと他

大震災を風化させないために
是非東北にいらして下さい！

ご挨拶

未曾有の天災・人災であった東日本大震災からもうすぐ丸3年を迎えようとしておりますが、復興は「かけ声」ばかりで、遅々として進まず、人々は他の雑事にかまけて、既に震災体験の風化が叫ばれるようになりました。福島第一の原発事故は収束とはほど遠く、汚染水の流出は日々続いています。しかし、一方で世界は東北、日本を忘れていないことも明確で、できることを継続して実践していくことの重要性をかみしめております。

私は、この東日本大震災を仙台で経験しました。この震災体験は、医師として30年を越え、自分なりに地域と医学に身を捧げてきた私にとって、それまでの生き方を180度転換させるようなものでした。検案のために接した何百の方々を前に、「この事態を防げなかったのはどうしてだろうか？少なくともこれからはこの事態と無縁では生きていけない」と思われました。地震、津波、原発事故、風評被害の四重苦にあえぐ被災地域の方々に直接接し、また、仙台で震災直後から音楽を直接人々に届ける仙台フィルハーモニー管弦楽団の方々の活動に毎日接することで、他のものにはない「音楽の力」による復興支援に携わるようになりました。主に仙台市星陵地区（東北大学医学部および大学病院のあるキャンパス）の教職員・学生と関連する社会人で作る「良陵共に歩み隊（ゴントモ）」を設立し、これまで30回を越える支援コンサートを直接届けてきました（「共に歩む」コンサート、別紙参照）。またこの活動と平行して、音楽による復興支援の嚆矢で、1995年の阪神・淡路大震災をきっかけにはじまった「1000人のチェロ・コンサート」の活動にも加わるようになり、2015年5月24日のゼビオアリーナ仙台での第5回コンサートの開催に向けて努力しています。

高橋明

講演者プロフィール

1952年埼玉県生まれ
1978年東北大学医学部卒業
1980年東北大学脳研脳外科（鈴木二郎教授）入局
1992年広南病院に血管内脳外科開設（医長）
1999年東北大学神経病態制御学分野教授
2009年東北大学医工学研究科血管再建医工学分野教授、医学系研究科兼務

連絡先：高橋 明

Email: akirasnd@gmail.com

携帯：090-2980-4106

<http://akirasnd.wix.com/gontomo>

<http://gontomo.blogspot.com/>